

教科 No.	1X01	授業科目	総合基礎実技	単位数	週5日 8単位
担当教員	Simon Fitzgerald・塚田章・大西伸明・日下部雅生・小山田徹・田畑千秋・舟越一郎 ○菊川亜騎 ○吉田典子 ○佐野暁 ○増田晴香			開講学期	前期
履修条件			履修学年・専攻等	1年次	

【授業目標】

既存の美術の枠を超えて、さまざまな素材や技術、発想にふれる中で、あらゆる芸術の根本をなす人間と自然のつながり、また芸術各領域のつながりを知り、あらゆる造形活動全般の基礎となる開かれた感性・創作意欲・知的探求心を養う。

【授業概要】

美術学部の新入生全員が所属の科に関係なく4クラスに編成され、専門分野の枠を越えた教員組織の指導のもと、造形芸術の各領域に通じる基本的なテーマにもとづいて複数の実習課題を行う。各課題は、学外研修、関連講義、ワークショップ、チュートリアル（個別指導）、個人またはグループによる制作、発表、合評を組み合わせた多彩な内容で展開される。

2011年度総合基礎実技 【課題内容】

課題テーマ「とらえる」

本年度の総合基礎実技では共通テーマとして、「とらえる」を設けた。

物や事柄、あるいは現象を単一の視点や方向から「とらえる」ことはできない。制作にあっても同様であることをまず確認する意味を示すため、本テーマ「とらえる」を設定した。

どのような問題に着眼し、発想を得、いかに作品へと形作ってゆくかの方法や、柔軟な思考の展開を促すための練習を5つの課題を通じて学んでゆく。

- 第一課題「樹を描く」4月11日(月)～25日(月)＊ただし4/22(金)の研修旅行日は除く
大学構内で各自モチーフとなる樹を選び、描く。雨天時は室内にて人物の描写を行う。

○研修旅行4月22日(金)大塚国際美術館(徳島県)、淡路島にてお香制作。

- 第二課題「畏」4月26日(火)～5月18日(水)

「私の芸術」に向かうのではなく、「他者」に対峙する姿勢でモノ作りを考える。仕掛けられる対象にどのように受け取られ、反応され、どう裏切っていくか思考すること。

- 第三課題「立版古～記憶のあられ～」5月23日(月)～6月3日(金)

記憶にとどめたい一瞬を、その気持ちや思いや感覚が伝わるような空間として想定し、誰にでも再現出来るようにパーツ分けした平面を制作し、第三者に再現してもらう。

- 第四課題「描くパワー～好奇心と探究心～」6月6日(月)～6月17日(金)

発見し、観察し、研究し、解析し、発想して表現する行程(工程)とパワーについて考える。対象物を観察して徹底的に描く工程(行程)の中でそれに対する研究や解析を加えて如何に自身のパワーに変えていくかを実践する。

- 第五課題「歩く作法」6月20日(月)～7月8日(金)

大学周辺のフィールドワークを行い、その結果を元に立体地図を制作する。作品はサテライトギャラリー@KCUAに展示し、多くの人に体験してもらう。

○総合基礎実技展 サテライトギャラリー@KCUA：7月14日(木)～8月7日(日)

備考：担当教員及び課題内容は年度ごとに変わる。